

～松野の農業・農地は俺が守る～  
加賀田 幸二さん(松野町)

愛媛県認定農業者等連絡協議会副会長  
鬼北地区認定農業者等連絡協議会長  
JA えひめ南野菜部会部長 1966年生まれ



☆経営概況☆

水稲3.0ha、施設きゅうり〔3.5a×2回(春1回、秋1回)〕、ゆず40a、水稲受託作業約7ha(田植え5～6ha、稲刈り1ha)、育苗管理2,200箱。

全て一人で作業します。

☆ここがポイント☆

■大規模面積の水稲の作業受託

米の生産販売だけでは、なかなか利益を確保することは困難ですが、**独自の販売先を確保し、自作地のお米は全て完売**しています。

作業受託は、地域内の育苗の他、田植えや稲刈り・乾燥調製を請け負うことで、地域の農家が先祖から受け継いだ農地で、少しでも健康で「楽に」「長く」、農業が続けられるよう手助けしています。

■施設きゅうりとゆずで中山間地でも収益を確保

農業は、収入がないというイメージが先行していますが、**お米でも独自販売することで、収入を確保**できます。

鬼北地域は、きゅうり、なす、ナバナやゆず、くりなどの作物、作型の組み合わせの工夫により十分収益が確保できるのも特徴です。

特にゆずは、加工向けのため、栽培にそれほど手もかからず、きゅうり、水稲と繁忙期の労働競合もなく、地域にあった作物だと思います。

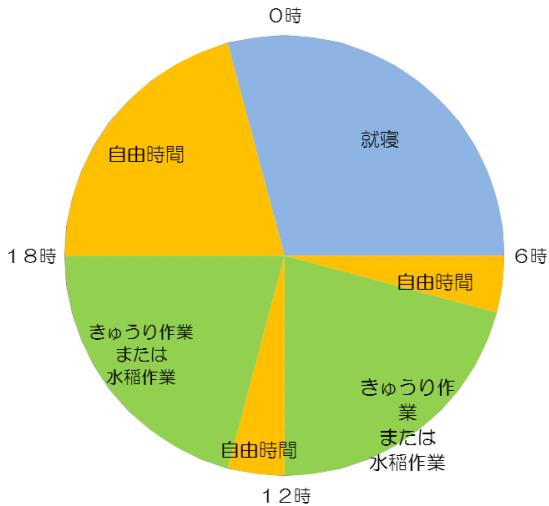


施設きゅうりの誘引作業



抑制きゅうりの収穫・管理作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

利用する機械が多いので、年間を通じて作業の合間や梅雨時期などでも機械のメンテナンスで、定期の休日が取れないのが現状です。( \_ \_ ) !!

もちろん組織関係の仕事もあるので、最近は特に休みが取れないのが悩みです。

それでも、春作業前の1~3月に、旅行などで気分転換しています。この時期以外でも雇用を入れていないので、自分のペースで仕事をこなして、都合をつけてストレスを感じない様に工夫しています。唯一の心配は、食事の時間が不規則になりがち!若いので、そこは体力でカバーしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	田植、稲刈り時期は、雨天でも何かの作業はしています。(*_*)					
← 水稻(移植:4~5月、収穫・乾燥調製:8~9月) →						
【普通期】	施設きゅうりの収穫・出荷、防除作業など。ただし雨天時は休みます。					
← きゅうり収穫出荷・栽培管理(5~7月、10~11月) →						



認定農業者協議会で特産品のPR活動



健康管理に、夕方は愛犬との散歩

☆これからの夢や目指すもの☆

■友人と法人化して更に面積を拡大、高齢農業者の支援ができるように

個人での経営規模の拡大に限界を感じているので、時々お互いの作業を手伝う友人と法人を立ち上げようと考えています。法人化で規模拡大や雇用も可能になり、今まで以上に地域の農地・農業を守って行きたいと考えています。

☆メッセージ☆

■松野町で一緒に加工用のもも・くり・ゆず・うめをつくりませんか？

松野町では、様々な加工向けの果樹を加工業者と連携し生産しています。省力化した栽培技術で青果販売以上の収益も期待できます。農林公社による研修や作業支援も充実しています。きゅうりなどの野菜以外にも水耕トマトやなす・ピーマンなど、いろいろと選択肢が多い地域だと思います。鬼北地域には産直施設も多いので販売方法も多様です。興味のある方、松野町で農業にチャレンジしてみませんか？